

11. 時事問題の経済学的とらえかた

概要	「時事問題の経済学的とらえかた」というテーマで、以下の4つの内容の講義を行います。	
会場	東千田キャンパス 東千田未来創生センター M304 講義室 (広島市)	
時間	① 9:00～10:30 ② 10:40～12:10 ③ 13:10～14:40 ④ 14:50～16:20	
定員/対象	50名 / どなたでも (教員免許状更新講習と同時開催)	※1回が変更になりました。
受講料	4,000円	貿易摩擦と日本経済 社会科学研究科 准教授 大河内 治 国際貿易がゼロサムゲームではなく、すべての貿易国に利益があることを理解し、貿易の問題と国内の問題の関係を理解できる。
7/27 (土)	1回 ①	経済データの作成と統計学の考え方 社会科学研究科 教授 小瀧 光博 失業率、消費者物価指数、平均寿命に焦点を当て、その作成方法や作成のために使われている統計学の手法や考え方について説明します。また、それらの指標作成における課題・問題点や国際比較・地域比較なども考察します。
	2回 ②	企業活動と金融市場に関する問題について 社会科学研究科 教授 鈴木 喜久 企業の収益性を高めるために、金融市場を通じて行われる様々な取組や政策の背景と目的を説明します。
	3回 ③	わが国の財政問題 社会科学研究科 教授 二村 博司 財政統計データを用いて、わが国の財政問題について考察します。
	4回 ④	マクロ経済政策 (金融財政政策) に関する問題について 社会科学研究科 教授 千田 隆 経済財政白書を主に用い、現在行われている金融・財政政策の背景と目的を説明します。
講座内容に関する問合せ	社会科学研究科支援室 (運営支援担当)	電話: 082-424-6753 メール: syakai-soumu-kaikei@office.hiroshima-u.ac.jp